

分野		補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	喬木村	ふりがな箇所名	(主)伊那生田飯田線		おがわどぼし小川渡橋		事業年度(完了年度は見込み)	H25	年度～	H29	年度
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=50m W=5.5(7.0)m (うち橋梁27m)			200,000		国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度	橋梁予備設計 1橋			3,000				2,700	300	
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価				ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満			B	2		
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある			0				
		ネットワーク(道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/> A及びBに該当しない				5		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所でない			4				
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない			2				
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)				0		
			<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input checked="" type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない				2		
		他事業との関連	<input type="checkbox"/> 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施						0		
	小計						15				
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ現実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされているが現実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない			A	5		
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)又は、振興山村、種畜地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない				3		
		小計							8		
	効率性 (20)	費用対効果	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満			B	0		
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上				5		
		コスト縮減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト縮減はしていない。				7		
		小計							12		
	緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない			A	10		
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路				6		
		小計							16		
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない			B	5			
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない				5			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない				4			
	小計							14			
費用対効果(B/C)		0.3		評価の合計				B	65		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該橋梁は、橋梁の損傷が激しいため、平成22年度と23年度に橋梁補修(床版補修、舗装補修、断面欠損部補修)を実施している。しかし、RC-T桁の損傷が激しいため、過去に鋼板接着により補修しているが、鋼板も腐食が激しい状況である。そのため、第2次緊急輸送道路でありながら、10tの荷重制限をしている状況である。生活道路であるため、早急に架け替えを行い沿線住民及び通行車両の安心・安全を確保したい。									
	地域からの要望経緯	毎年、喬木村長からの所長要望や喬木村からの市町村要望箇所である。									
	事業説明等の経緯	関係者を中心に状況を説明している。									
	環境・景観への配慮項目	車道と歩道が分離している形状であることから、喬木村と打合せを実施し、歩道部については、現橋の健全度を確認しながら引き続き利用する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	役場と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。									
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成		<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	第2次緊急輸送路であり、生活道路としての安全確保を図る事業であるため、H25年度から事業化をしたい。				行政改革課意見		重要性、緊急性が認められる。				